

# 下寿

## 100歳をお祝い 祝詞・記念品を贈呈

今年度100歳を迎える方のご長寿を祝い、内閣総理大臣からの祝詞と銀杯、あわせて町からのお祝いの品を贈りました。

本町の9月1日現在での100歳以上の方は33名で、最高齢は104歳の方です。

### 【100歳になられる方】

- 山田 文子さん (三成)
- 藤原 高子さん (三成)
- 岸本 隆雄さん (三成)
- 和久利 貞子さん (三成)
- 磯田 敏枝さん (三成)
- 若槻 美代子さん (亀高)
- 佐野 麻子さん (亀高)
- 宮本 武敏さん (鳥上)
- 永井 彌生さん (鳥上)
- 内田 文吉さん (横田)
- 内田 文枝さん (横田)
- 日森 早苗さん (八川)
- 堀江 廣始さん (八川)
- 中村 教式さん (八川)
- 藤原 光雄さん (馬木)

## 奥出雲仁多米株で 新米を初出荷

9月22日、奥出雲仁多米株のコントリビューターから令和3年産新米の出荷が始まり、出発式が行われました。

コロナ禍であつても仁多米の需要は堅調で、この日は、例年並みの業務用6トン、通販・店頭用6トンの計12トンが荷造され、「令和3年度産仁多米新米初出荷」の横断幕を荷台に張ったトラックで首都圏や関西方面へ配送されました。

奥出雲仁多米株の内田康也管理部長は、「7月、8月の大雨による大きな被害はなく、粘り・香りが強くもちもち感のある良いお米ができました。」と米の出来について話されました。



## ライオンズクラブから 災害見舞金が 贈呈されました

島根・山口両県のライオンズクラブでつくるライオンズクラブ国際協会336-D地区から30万円の見舞金をいただきました。

この見舞金は、7月の豪雨で甚大な被害を受けた出雲市・雲南市・江津市・飯南町・奥出雲町に贈呈されるものです。

9月28日に役場仁多庁舎で行われた贈呈式で、田中久隆ガバナード代理は、「各市町では、安心安全な町づくりを努力されており、我々は、ボランティアとして協力したいと思います。」と述べられました。



勝田町長、藤原副町長とライオンズクラブ国際協会336-D地区の会員の皆様

## 交通事故防止のためにカーブミラー12基寄贈

9月22日、秋の交通安全運動にあわせ、JAしまね雲南地区本部と全国共済農業協同組合連合会島根本部から交通事故軽減・防止のため、町にカーブミラー12基が寄贈されました。

JAしまね雲南地区本部源常務理事副本部長は、「カーブミラーが交通事故の防止に役立てばよいと考えております。また、設置されたカーブミラーを地元の方が清掃活動をして下さっている事に感謝しています。」と述べられました。

寄贈されたカーブミラーは、各地区の要望などを考慮して設置します。



JAしまね雲南地区本部の源常務理事副本部長 (右)

## 明治安田生命保険相互会社木次営業所から寄附金をいただきました

本町と健康増進などで連携協定を結ぶ明治安田生命保険相互会社から、新型コロナウイルス感染症対策を支援するために、25万3千円の寄附金をいただきました。同社からの寄附金は、昨年度に引き続き2回目となります。

9月28日に、役場仁多庁舎で行われた贈呈式には、同社木次営業所の澤田所長らが出席されました。この寄附金は、同社が行う社会貢献活動「地域の元気プロジェクト」の一環である「私の地元応援募金」の取り組みによるもので、全国の従業員がゆかりのある自治体等に募金をしたものに、会社拠出の寄附を乗せたものです。これまで全国の自治体等1,210団体に約5億円を寄附されています。

澤田所長は、「新型コロナウイルス感染症対策や観光振興のために活用してほしい」と挨拶されました。



明治安田生命保険相互会社木次営業所の澤田所長 (右)

## 町の教育振興の一助に ホシザキ株式会社から町に寄附

10月6日、ホシザキ株式会社から1,000万円の寄附を頂きました。同社からは、今年で5年目となり、平成29年から毎年1,000万円、総額5,000万円の寄附となります。

この日は、ホシザキ株式会社 常務執行役員の落合工場長と島根総務課の荒木課長が仁多庁舎を訪れ、勝田町長へ目録が贈呈されました。

これまでいただいた寄附金は、小中学校の図書や教育用ICT機器の整備をはじめ、各学校の図書館司書の配置やふるさと教育などに活用されています。また、横田高校の魅力化事業や奥出雲学、だんだんカンパニー、海外派遣事業などに活用しています。

落合工場長は、「人材育成に活用いただき、奥出雲の地に誇りを持ち、様々なことにチャレンジしてほしい」と述べられました。

町では、今後も教育環境の充実に幅広く活用させていただきます。



ホシザキ株式会社の落合工場長 (右)

## 世界平和を願って 戦没者追悼式

令和3年度奥出雲町戦没者追悼式が9月11日、横田コミュニティセンターで行われました。新型コロナウイルス感染症の影響により、式には、仁多郡遺族連合会各地区会員の代表者のみが参列し、893柱の英霊を偲びました。遺族を代表して、板持文善さん(布勢)が「日本の社会も遺族も大きく様変わりし、戦中戦後の厳しい当時を知る人も少なくなっているが、戦争の恐怖と悲惨さに思いを馳せ、恒久平和の尊さを後世に語り継ぐ使命を強く感じている」と追悼の言葉を述べられました。

また、参列者全員で献花をし、平和への誓いを新たにしました。



追悼式の様子